



れんごう栃木

発行人 吉成 剛
編集人 川中子 伸之
〒320-0052 宇都宮市中戸祭町821
栃木県労働者福祉センター内3F
TEL 028 (650) 5555
FAX 028 (650) 5566
メール :info@tochigi.jtuc-rengo.jp
URL:https://rengo-tochigi.or.jp/

●県へ「政策・制度要求と提言」提出●公労使共同宣言●女性の労働相談●支援米田植え●平和行動を動画配信



子育て、医療政策、雇用安定など 88項目要求 福田知事、移住促進に意欲

連合栃木は6月22日、県施策に関する「政策・制度要求と提言」を福田知事へ提出した。この政策提言は、栃木県において「働くことを軸とする安心社会」の実現のために、労働者・生活者の視点と労働組合の立場で、政策委員会を中心に取りまとめたもの。今年度は特に、「暮らしに関するアンケート結果」(2020年・8700件)や「SDGs」、「とちぎ創生15戦略(第2期)」、「新型コロナウイルス対策」を重要な論点として議論を行い、合計で88項目を要求した。

要求と提言を受けて福田知事は、「内容を精査し文書で回答する。10月の部局交渉でさらに議論をしていきたい」とし、さらに地方創生に関しては「とちぎ元気発信プランとも連携し、関係人口の拡大や栃木県への移住を増やしたい」と話された。

連合栃木は本年4月に結成30年を迎えており、この間も「要求と提言」を取りまとめてきた。連合栃木は今後もすべての働く仲間のため、この「要求と提言」実現に向け、推薦議員とも連携して運動を展開していく。



雇用、経済の連携強化を確認

新型コロナウイルス感染症の影響で、雇用や経済が厳しい状況にあるなか、連合栃木や栃木県、栃木労働局、栃木県経営者協会など県内10機関・団体は6月23日、雇用維持・経済回復に連携して取り組むことを確認し、公労使共同宣言に署名した。

共同宣言では「雇用と生活を支える」、「企業を支え、回復を加速する」、「知恵と情報をつなげる」の3本柱となっており、雇用環境については、妊娠中の女性や、高齢者、基礎疾患有する労働者への配慮、テレワークの普及など新たな動きを捉えた働きやすい魅力ある職場づくりの推進などが盛り込まれた。



新型コロナで休業、パワハラなど、女性からの労働相談受ける

女性のための全国一斉労働相談ホットラインを開設

連合は6月15日～16日、女性のための全国一斉労働相談ホットラインを開設し、連合栃木では、女性執行委員や女性委員会役員、女性議員が相談に応じた。このホットラインは、6月の男女平等月間の取り組みの一環として行い、今年は新型コロナウイルスに関する相談も受け付けた。

2日間での相談は9件で、うち女性からは7件であった。対応した女性役員は、相談者の話に寄り添いながら、解決に向けてアドバイスを行っていた。



【相談事例】派遣先が4月末で休業となった。5月1日までは派遣元から休業補償があったが、契約を一方的に切られ、「退職届」を書くように指示された。どう対応したらよいか。(女性)

【相談事例】病院勤務。子どもの保育園から、体調が優れないと連絡があり、電話をしていたら上司から「すぐに電話を切れ」や、「口ごたえするな」など、患者さんにも聞こえるくらいの大きな声で怒鳴られる。産休に入るので、辞めるかどうか迷っている。(女性)

泥んこ田植えに、子どもたちも大はしゃぎ

アジア・アフリカ支援米作付け



食みどり水委員会
斎藤幸博 委員長



食みどり水委員会
小林長武 事務局長

連合栃木食とみどり水を守る運動推進委員会（斎藤幸博委員長）は6月7日、鹿沼市下沢の水田で「アジア・アフリカ支援米」の田植えを行った。新型コロナウイルスの終息が見えない中、例年より規模を縮小し、マスクを着用しながらの作業となつた。

ご当地での支援米作付けは今年で5年目となるが、恒例の魚釣り、魚つかみ取り、昼食会は中止とした。それでも、当日は

天気にも恵まれ、参加した組合員の家族や子どもたちは、泥んこになりながら、田植えを楽しんでいた。また、農業の大切さや田植え、お米の文化の話など、委員会の小林長武事務局長を講師に、学習会を行つた。

支援米は秋の収穫を経て、今回もアフリカのマリ共和国に送る予定だ。



連合栃木結成30周年～写真で振り返るPART II～

4月28日、連合栃木は結成30周年を迎えた。機関紙5月号では1990年から2005年までを、7月号では2006年から2019年の活動の歴史を少しだけ写真で振り返ってみる。



交通問題シンポジウム [2006年3月12日]



格差は正フォーラム [2007年2月3日]



後期高齢者医療制度撤廃集会 [2008年6月29日]



派遣切り相談会 [2009年1月24・25日]



第45回衆院選・政権交代 [2009年8月30日]



結成20周年記念講演会 [2010年12月6日]



第82回栃木県メーデー [2011年4月30日]



社会保障・税シンポジウム [2012年4月7日]



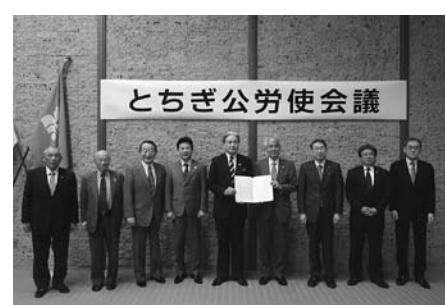
LRT導入反対合同会議 [2013年4月3日]



組織拡大キックオフ集会 [2014年2月17日]



25周年記念セレブレーション [2015年5月27日]



働き方改革公労使協働宣言 [2016年3月14日]



環境フォーラム連合エコ大賞 [2017年6月14日]



2018地域フォーラム [2018年1月27日]



台風19号義援金贈呈 [2019年11月11日]

佐藤信候補 4 選飾る ー鹿沼市長選ー

5月24日施行の鹿沼市長選挙は、連合栃木推薦の佐藤信候補（現職）が4期目の当選を果たしました。

【鹿沼市長選挙結果】 投票率 55.59%

当選 24,389 票 佐藤 信（無所属・現）

20,166 票 石下友彦（無所属・新）

災害ボランティア 研修会

災害ボランティア の基礎を学ぼう

テーマ 「災害ボランティアの基礎」
「災害ボランティア活動とは」
「災害ボランティアの役割」ほか
講 師 鹿沼市社会福祉協議会事務局主査
柴田 貴史氏
日 時 8月18日（火）18:15～19:45
場 所 県労働者福祉センター1階第3会議室



連合栃木・中央ろうきん 「生活応援運動」の取組みについて

中央ろうきんでは、連合栃木と連携し、新型肺炎（新型コロナウイルス感染症）の影響により、生活不安を抱く組合員へ金融面での支援を実施しております。

労働者自主福祉団体として、中央ろうきんでは、下記の3つの取組みを中心に生活応援運動を実施して参ります。

～ ともに団結し、困難を乗り切りましょう～

1 生活資金支援の取組み

組合員への生活支援として、中央労働金庫の会員団体向けセーフティーネット商品「緊急生活応援ローン」を活用し、当面の生活資金を金融面から支援していく。

*本商品の取扱いについては、ろうきんとの協定締結が必要。

2 積極的な世話役活動の取組み

家計の負担軽減として生活応援運動を広く周知し、組合員一人ひとりへ「アンケート等」を実施する事により、すべての組合員へ積極的な働きかけを行い生活支援を実現していく。

3 高金利カードローン利用防止（多重債務防止）の取組み

資金への影響が懸念される状況において、急な出費への対応策として高金利カードローンの利用防止（多重債務防止）を目的に、中央労働金庫のカードローン「マイプラン」の認知度（保有）向上を図っていく。

お問い合わせは

〈中央ろうきん〉栃木県本部へ TEL：028-622-4296 (2020年6月9日現在)



再生紙 70%を使用しています。



1部 15円（会員の購読料は会費の中に含む）

法律相談室 なんでも 法律相談室

電話番号

フリーダイヤル

0120-190-537

開設日

毎月 5 日・15 日・25 日／13:30～
16:30 (年末年始 GW お盆は除く)

事前予約が必要です。相談は無料です。相談時間は30分となります。面談相談も可能です。

お知らせ

今年の「平和行動 in 広島」「平和行動 in 長崎」、「平和行動 in 根室」は、連合本部の開催形態の見直しにより、連合栃木の参加者派遣を中止いたします。

戦後75年「2020 平和行動」動画配信

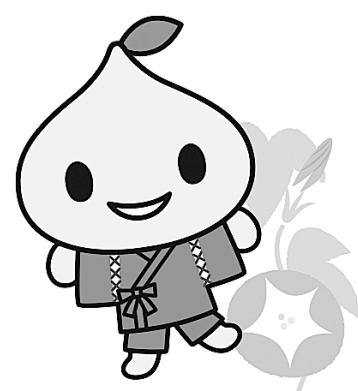
「希望の旗メッセージリレー」(6/19～)

「平和行動 in 沖縄」(6/23～)



こくみん共済 NEWS

あらゆる暮らしの シーンをしっかりガード



宇都宮東支所

Tel 028-634-1790

宇都宮西支所

Tel 028-634-1790

足利支所

Tel 0284-42-9505

小山支所

Tel 0285-22-6041

那須塩原支所

Tel 0287-48-6032

こくみん共済

全国労働者共済生活協同組合連合会 COOP

こくみん共済 coop 栃木推進本部
(栃木県労働者共済生活協同組合)

0920Z002